

2023 年度 第 2 回監査結果報告書

1. 日 時 : 2023 年 12 月 12 日 (火) 13 時～16 時 15 分
2. 場 所 : 外来棟 6 階 カンファレンスルーム 1
3. 監査委員 : 橋本廸生 (委員長)、棚瀬慎治 (委員)、岩本裕 (委員)、落合和徳 (委員)
4. 対象期間 : 2023 年 4 月～2023 年 9 月
5. 実施方法 : 資料およびプレゼンテーションに基づく医療安全管理体制および実業務の確認、ヒアリング
6. ヒアリング対象者

小島 博己／病院長
瀧浪 将典／副院長・医療安全管理責任者・医療安全管理部門長 (医師)
大城戸 一郎／医療安全推進部長 (医師)
小菅 誠／医療安全推進部副部長、医療機器安全管理責任者 (医師)
佐藤 恵／医療安全管理者 (看護師)
有賀 庸代／医療安全管理者 (看護師)
出雲 正治／医薬品安全管理責任者 (薬剤師)
遠藤 智久／医療機器安全管理実務責任者 (臨床工学技士)
右近 好美／医療安全推進部 (看護師)
影井 淳子／医療安全推進部 (事務員)
小野澤 雅久／医療安全推進部 (事務員)
楠本 靖幸／医療安全推進部 (事務員)

7. 前回の指摘事項に対する改善状況について

配布資料をもとに説明があり、次の通り確認した。

1) 指摘事項①

セーフティマネージャー会議について、出席率向上のため、個別連絡以外の方法について検討願いたい。

【改善報告】

2023 年 10 月より診療部会議にて本会議の出席状況を共有し、各診療科及び各部署からの出席を促すこととした。

2) 指摘事項②

医療安全院内研修のうち、受講が任意の研修について、受講対象者 (分母) を整理したうえで、受講率の算出を検討願いたい。

【改善報告】

今年度の医療安全院内研修 (任意受講含む) の受講率を提示する際に、任意の研修の受講率についても併せて明示する。

3) 指摘事項③

院内緊急対応検討作業部会について急変対応として様々な取組がされているが集計上整理しきれていない印象を受けるため、他大学病院の事例や実績等も必要に応じて参考のうえ、整理が可能かどうか検討して頂きたい。

【改善報告】

CCO 活動の定義を明確にし、統計の集計を行うこととした。次回の本委員会にて年間での報告を行う予定である。

8. 監査結果について

2023 年度上半期における医療安全管理体制、活動状況、事例報告等について、資料およびプレゼンテーションに基づく説明に対してヒアリングした結果、以下の通り報告する。

- 1) 医療安全院内研修においては受講対象者を明確にしたうえで、それら対象者が受講しているかの把握が重要となる。受講者数のカウントとして、延べ人数が用いられているため、再度整理して頂きたい。
- 2) 未承認新規医薬品等担当部のモニタリングにおける適応外使用を行う医薬品等で障害が起こった時の補償について、公的な補償と病院独自で加入している賠償責任保険等では補償対象が異なるため、同意取得の際に患者に明確に説明するためにも、各々の補償対象等について整理頂きたい。
- 3) 高難度新規医療技術担当部における高難度新規医療技術承認後のフローに関して、モニタリング実施時期が「手術後約 3 ヶ月後、約 6 ヶ月後、約 12 ヶ月後」となっているが、患者の状況に応じて適切なモニタリング時期は異なると考えられるため、再検討頂きたい。

以上